

■薬 剤 科

2008年度報告

2008年度の服薬指導件数は月平均114.25件となり、昨年度後半と比較して、月で約18件の指導件数増加となり、混注業務に関しては前年度と変わらず推移している。しかしながら、退院患者指導件数の増加が見られなかったことが今年度の課題として挙げられる。

【業務実績報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
服薬指導件数	116	108	118	111	106	117	123	118	117	103	115	119
退院患者指導	2	5	5	2	4	4	4	2	0	2	0	0
混注業務実績	45	50	84	96	77	104	87	34	64	111	90	40

【今年度の計画】

薬剤科の人員が2名増員され計5名となりマンパワーが増加したことから、今年度の計画は昨年度と比べ大きく変更する必要があると考えられる。特に薬剤管理指導業務については昨年度後半より増加しているが、人的問題もあり2007年度から徐々に算定数が減少している。2009年に入りこの問題が解消されたことから早期に対応を行い結果を出す必要があると考えられる。

① 薬剤管理指導業務について

5名全員が指導業務を行うこととし、各病棟担当薬剤師の配置変換・増員を行うことで指導業務、退院時指導の算定件数を増加させ、2007年度の業務実績（月平均386件）を目標とする。

② 適正使用について

抗菌薬をはじめとした各薬剤の適正使用に努める。（抗菌薬においては投与期間の確認、PK/PD分析等）

③ 院外研究会、学会発表について

薬剤師会主催の研究会に出席する事により各自研鑽を積み、「日本病院薬剤師会生涯研修認定制度」の所定単位を取得する。また、「札幌病院薬剤師会会員発表会」「北海道薬学大会」「医療薬学会」等の学会発表を行う事を目標とする。

④ 院内発表について

TQM活動に積極的に参加する。

文責 風間 正人